



日本の伝統 “祭り”

校長 廣淵徹志



7月になり、夏休みに日本各地で「夏祭り」等の開催が予定されています。新型コロナウイルス感染症拡大防止からこの3年間は開催が中止され、かつての夏の賑わいが影を潜めていました。この開催を心待ちにしている人たちも多いのではないかと思います。

今年は、西本郷中学校の学区である小菅ヶ谷・笠間連合町内会自治会でも「夏祭り」や「盆踊り」が行われ、子どもからお年寄りまで多くの人たちによって賑わいが戻ってくるはずですよ。

日本人にとって『祭り』とは何でしょうか？それは日本の風土・気候＝春夏秋冬と大きな関わりがあります。農耕民族の日本人にとって、「春の訪れとともに種をまき、夏には害虫や疫病、台風などの被害にあわないことを願い、秋には実りに感謝を捧げる。また、寒さの厳しい冬にはこもりながら穢れを落とす禊ぎなど、魂を充実させていく……」。日本人の季節感が祭りに凝縮され、季節の移り変わりに寄り添うように人々の営みがあります。そこには日本人の“生きる力”を見ることができます。

「夏祭り」の代表的なものの一つに京都の『祇園祭』があります。京都三大祭（他は葵祭、時代祭）の一つで、八坂神社の祭礼です。平安時代の清和天皇の時に疫病の流行をしずめるため、平安京の広大な庭園である神泉苑に日本中の国数と同じ66本の鉾を立て、神に祈ったのが始まりとされています。この当時は神の怒りや悪霊こそが疫病の原因だと思われていました。

また、青森の『ねぶた祭』（8月2日～7日）は、東北三大祭り（他は仙台の七夕まつり、秋田の竿灯まつり）の一つです。害虫の被害が最も多い夏に農村では病虫害を追い払うため、虫送りとも言われている祭です。

世界にも様々な祭りがありますが、日本は神社やお寺などで神様に感謝の気持ちを示すものとして行われるものや、豊穰を祈願するようなものなど、自然とともに営んできた日本人の伝統的な祭りが多いです。



私も子どもの頃から「祭り」が好きで、待ち遠しく法被、腹当、手ぬぐい、足袋等を早くから用意していた記憶があります。

コミュニティとしての地域社会にいつの時代も人々を集め、楽しく、おだやかにまとめる力を持っている、日本の伝統が“祭り”だと言えます。

6月13日（火）に西本郷中学校において、西本郷中学校ブロック第1回学校運営協議会が行われました。学校運営協議会は、西本郷中学校区内の地域住民や学校運営に資する活動を行う者（学校・地域コーディネーター）、学識経験者、保護者（PTA会長）、校長により構成されています。本協議会は、保護者、地域住民等と学校が情報を共有しながら連携強化を進めることで、「横浜教育ビジョン」で示された「知」「徳」「体」「公」「開」を兼ね備えた”横浜の子ども”の育成を目指す学校運営の実現や、未来の「西本郷・笠間」の地域を担う児童・生徒の健全な育成に取り組むことを目的に活動するものです。

< 学校運営協議会委員 >

氏名	カテゴリ	所属	氏名	カテゴリ	所属
指田 弘	地域住民	笠間連合 会長	松本多貴子	学校運営に資する者	学校地域コーディネーター
田中 健次	地域住民	小菅ヶ谷連合 会長	大竹 緑	学識経験者	杜ちやいんど園 園長
村松 弘一	地域住民	笠間連合 副会長	小泉 裕子	学識経験者	鎌倉女子大学教授
中里 章夫	地域住民	小菅ヶ谷連合 会計	平田 眞大	保護者	笠間小PTA会長
田中久美子	地域住民	小菅ヶ谷町内会会長	大矢 あい	保護者	西本小PTA会長
本田 睦子	学校運営に資する者	主任児童委員	佐久間千秋	保護者	西本中PTA会長
栃木 伸子	学校運営に資する者	主任児童委員	中里 純子	設置校の学校長	笠間小 校長
田村 郁子	学校運営に資する者	学校地域コーディネーター	活田 宏輔	設置校の学校長	西本郷小 校長
山本 明美	学校運営に資する者	学校地域コーディネーター	廣淵 徹志	設置校の学校長	西本郷中 校長

< 学校運営協議会役員 >

※ 学校運営協議会会則に基づき、役員を選出いたしました。

会長：田中 健次 様

副会長：指田 弘 様 中里 章夫 様 書記：佐久間千秋 様

○ 校長挨拶

- ・西本郷小学校 活田校長

今年4月時点で児童数は523名。児童たちの学校生活は落ち着いてスタートしている。大船ルーテル保育園と幼保小連携推進地区。



- ・笠間小学校 中里校長

児童数は527名。全学年3クラスとなる。長年、就任していた児童支援専任と教務主任が今年入れ替わった。笠間小は縦割り活動を充実し、児童の豊かな心を育てていきたい。



- ・西本郷中学校 廣淵校長

新年度に入り、学校生活も新型コロナウイルス感染症拡大防止以前に戻りつつある。文科省の指定でESD事業を推進し、SDGsの担い手育成を意識した学校運営に取り組んでいる。現在、視聴覚室をメディアルームへと改修中で、メディアルームと図書館の両方を活用し、総合的な学習を含め、探究学習に役立てるよう考えている。今回の第2回学校運営協議会はメディアルームで開催予定としている。

○ 田中健次会長ご挨拶

学校運営協議会として将来の担い手づくりに関わることができありがたく思う。栄区全般では高齢化が進んでいるが、小菅ヶ谷・笠間地区は新興住宅地として若い世代が増えている。これからの世代を育てていける様よろしくお願ひしたい。



- **A部会** : 西本郷小学校・笠間小学校・西本郷中学校に分かれ学校運営方針の承認や教育活動の共有、学校運営の評価などを検討する。

— **中期学校経営方針と児童生徒の生活の様子** — 各学校長より

【 西本郷小 】

「問題発見・解決能力」「自分づくりに関する力」の資質・能力を育てていこうと考えている。だがその計画が実際の子どもたちとかけ離れてはいけない、実情と理想が離れすぎてはいけなとなり、「夢を語る会」を昨年から行っている。年8回授業公開し研究を行っている。低学年は生活科、3年生以上は理科と社会の授業が対象である。児童の疑問を持つ点からはじめ、問題発見や解決能力を育てる。ただ児童は自己肯定感が高い方だと思うが失敗を恐れるところがある。人権の取り組みとして「やさしさをみつけよう」を行っている。児童が発見した「やさしさ」の手紙を校長宛に学校内ポストへ投函している。校内でも、発見した「やさしさ」を貼り付けている。

【 笠間小 】

「問題発見・解決能力」「自分づくりに関する力」の資質・能力の育成に注力している。先生からの課題にはそつなくできるが自ら課題設定する点が必要と感じる。「主体的」「自分で問題設定」を重点にしている。算数科をメインに授業研究を行っている(年6回)。全体的に縦割り活動を主軸に行っている。人との関わりを持ち、心を豊かにする目的としてあいさつ運動を行っている。本校も「やさしさをみつける」運動を行っている。西本小と同じく校長宛に投函し、全校向けに貼り付けしている。

【 西本郷中 】

市・国の学力学習状況調査を分析すると、学力は平均より上だが自己肯定感が低いことが分かる。これからは他と比べることにより、生徒一人ひとりの学力の伸び(学力レベルによって)からよりよい学びにつなげていくことが大切である。翠嵐高校の授業を見ると、互いに教え学び合うことによって、自分自身も相手も理解が深まり、コミュニケーション力も高まり、相乗効果が生まれている。授業の参考にしたい。自分で判断し、準備をし、行動を始める「主体性」が必要である。

また、本校はESD(持続可能な社会の創り手を育む教育)の推進校として文科省の指定を受けている。修学旅行もSDGsを意識して沖縄に行っている。戦争激戦地としての歴史をもつ沖縄だからこそ平和を前提にSDGsの必要性を学ぶことができる。

- **B部会** : 地域連携部会・学習支援部会・幼保小中連携部会に分かれ、情報交換・共有する。児童・生徒に必要な支援や地域連携のあり方などを検討する。

— **各校の地域学校協働本部の活動紹介** — 各校の学校・地域コーディネーターより

【 西本郷小 】

主な取組は、①教育活動サポート委員(学校)②地域の教育サポート委員(地域)③学校運営サポート委員(PTA)。卒業したOB・OGも多く約100名のボランティアのうち50名は地域の方々である。

【 笠間小 】

親しみを込め、地域学校協働本部を「かさまっこサポーターズ」と命名。主な取組は、①安全サポーター②学習サポーター③環境サポーター。現役保護者だけでなく、卒業した保護者のOB・OGもボランティアとして参加している。今後は学校・地域・子どもがウィンウィンになれば良いと考えている。

【 西本郷中 】

地域との連携で、①学習支援(火・金曜日の放課後に実施。現在約30名の生徒が自ら参加している)②ボランティア活動支援(地域行事への生徒参加。ボランティアの事前の心得・意思統一の必要性がある)③地域との交流(アートプロジェクトなど)④いのちの授業(いつか実現したいと考えている。現在検討中)⑤文化スポーツ活動支援(学校開放についての支援)を行っている。常に生徒が中心になる活動となるよう企画・実施している。

- **全体会** : A・B分科会での協議内容報告 事務連絡

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区大会

6月29日(木)「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト栄区審査会」が実施され、各中学校代表6名の生徒のスピーチが「国際平和のために、今自分にできること」に沿った内容のものであるか、聞き手に対して説得力やアピール性のあるスピーチかなどの表現力に基づいて審査されました。本校からは「水谷春音さん(3-1)」が学校代表として、素晴らしいスピーチを行いました。

最優秀賞	樋口 綾音(小山台中)	「我が家でできる生産と消費」
優秀賞	池田 詩(本郷中)	「動物って商品なの?」
優秀賞	長者 瑠夏(上郷中)	「好きなものを好きといえる世界」
優秀賞	戸川美曜子(桂台中)	「言うやさしさか、言わないやさしさか」
優秀賞	加藤 桃花(飯島中)	「ウミガメがおしえてくれたこと」
優秀賞	水谷 春音(西本郷中)	「大根の葉をイメージして」



夏休み・・・家族・地域の一員としての自覚と責任

この夏休み、コロナ禍とは違い、人々の活動が活発化する中、「自分の身は自分で守る」「家族や地域の一員としての自覚と責任をもって行動する」を心掛けることが大切です。

～ 保護者の皆様へ ～ 青少年の非行・被害防止全国強調月間

内閣府主唱の下、文部科学省その他の関係省庁等の参加により、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年問題等への対応の強化を図っています。今年度も国民の意識の高揚、青少年非行等問題行動への対応の強化、福祉犯被害等の防止を図り、青少年の非行・被害防止のための活動を広く集中的に実施することとしています。特に今年度の最重点課題は、「インターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止」とし、各種取組を集中的に実施することとしています。

○ SNSによるトラブル多発

横浜市内中学校において、SNS(LINEやTwitter等)によるトラブルが多く発生し、刑事事件にまでなっているケースやゲームの課金が百万円、数十万円以上に膨れ上がっているケースがあります。また、画像を載せたり、差別や偏見、いじめにつながる人権にかかわる問題等が起こってきています。保護者の管理の下、正しい使用法をご確認ください。

ペアレンタルコントロール → 子どもによるパソコンや携帯電話・スマートフォンやゲーム機などの情報通信機器の利用を、親が監視して制限する取り組みのこと。

スマートフォン等は保護者の管理の下で持たせ、使用させていることを忘れないように!

○ 自転車損害賠償責任保険

自転車の交通事故による高額賠償事例が発生しています。神奈川県では自転車保険の加入義務化になりました。自分や家族の自転車利用にあった保険に加入してください。横浜市交通安全協会などに問い合わせると良いでしょう。

○ ピーガルくん 子ども安全メール

最近、子どもを取り巻く環境の中で、様々な事件が起こっています。神奈川県警察では、子どもを犯罪から守るための情報を電子メールで携帯電話とパソコンにお知らせするサービスをおこなっています。「神奈川県警察のホームページ」や「ピーガルくん」で検索すると登録の仕方が分かります。



お知らせ

夏季学校閉庁日 8月7日(月)～8月16日(水)!

夏季閉庁日期間中は日直を置かず、対外的な業務を行わない日としています。ご理解ご協力をお願いいたします。また、閉庁期間中は原則、部活動も実施いたしません。

- 夏季学校閉庁日期間は、学校は留守番電話設定になります。
- 夏季学校閉庁日期間の緊急連絡先(緊急時に限る) 南部学校教育事務所指導主事室 843-6408
- 事件・事故に関わる場合は、まずは警察へ連絡をしてください。

< 事が起こったら、まず110番! >



二学期始業式 8月28日(月)

教育相談週間 8月28日(月)～9月4日(月)